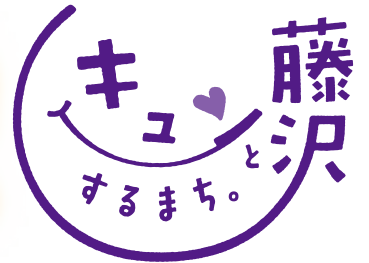


- 女性の活躍推進にあたって
- トコロ変われば…海外子育て事情<イギリスの場合>
- かがやくひと 小林コトミさん
- 児童虐待「面前DV」連鎖の恐怖

- 編集後記
- インフォメーション

# かがやけ地球



藤 沢 市

# 女性の活躍推進にあたって

「女性活躍推進法」で企業での女性活躍機会の提供や、家庭生活との両立のための雇用環境整備等が掲げられている。男性に代わって女性が入るというだけでなく、多様で柔軟な働き方の推進や能力発揮への支援なども含まれるが、そんな中で“これだけは是非・・・”と思う点について記してみたい。

1

## 活躍基盤について

各方面で女性リーダーが増え、力を伸ばしてゆくことも必要となるが、その時に、これまで女性が担ってきた力が活かされれば、大きな「活躍基盤」となるのではないだろうか。生活の実情を観る眼や、パート等不規則な勤務の中での機敏な対応力をはじめ、次に挙げるような分野など限りない。

一例に過ぎないが、育児に関する事や台所で発揮される合理的な段取りは他の分野の作業工程にも活かされそうで、“個人的に何々が上手い”にとどまらず客観的に把握できれば、よりの確に伝え共有することが出来るのではないか。

“出産・育児はやった人でないと分からない”とも聞かすが、体験者の経験を広く共有し、少しずつでも女性が活躍するための基盤となる社会ルールや習慣づくりにつながれば有り難い。

2

## 女性の活躍推進にあたり男性は？

“男は仕事”と、職場での重責が男性の生きがいとされていた時代があったが、今はどうだろうか。

女性の活躍推進を通じて仕事の選択肢は広くなりワーク・ライフ・バランスの進展も期待され、男女ともに活躍の幅が広がることが見込まれている。

その中で男性も、家事・育児の分担を含め仕事・家庭・趣味それぞれに自身の個性を活かす点で変わりなく、どのように関わっていくのか、具体的な活動について専門家各氏の話等から学び考えていくことも必要だろう。

3

## 出産・育児への敬意

日常会話で育児体験女性から多く出た声だが、“女性の活躍をって言うけれど、出産・育児(特に乳幼児期)も活躍の場でしょ・・・他で頑張るのだけが活躍?!”と、複雑な気持ちが強く現れたものである。

企業等でも出産・育児には敬意を払っておられるに違いないが、“目の前に大事な仕事がある・・・”と現実にもいかないケースが少なくないようだ。だが、子どものいる、いないに関わらず、「将来の人材や顧客となる人」を育てることは社会にとっても大切なことで、企業として育児休業を“許可する”の目線ではなく“将来の人材等を育成する大切な仕事のひとつ”と考えれば、女性の活躍を強く推進する一助となるのではないだろうか。

# トコロ変われば…

## 海外子育て事情

イギリス  
の場合



今から15年前、長女がよちよち歩きを始めたあたりから、プレイグループに参加する。

これは保育士や母親が運営している子育てサークルのようなもの。教会のホールやコミュニティセンターで週1回程度開かれ、1回1ポンド程度(約150円)払うと利用できる。保護者にはお茶とビスケットがついてきて、寄付で集めた玩具で子どもを遊ばせる。プレイグループは平日の午前中に行われていることがほとんどだが、父親の姿もチラホラ、祖父母が連れていることもある。祖父母を通してファミリーと仲良くなりお誕生日会に招待されたりしたこともあった。

離乳食もほぼ完了しはじめた1歳半ごろ、チャイルド minder に預かり登録をする。チャイルド minder とは、有資格者で行政が家の設備などをチェックし許可を得たものが自宅で複数の子どもの預かれる保育制度である。長女が登録したチャイルド minder は、以前ナーサリー(日本でいう幼稚園に近い)の先生で、小学生の息子を持つシングルマザー。以降ナーサリーに通い始めても所用で数時間預けるなど不定期に利用していた。共働き家庭の場合、日本のような大規模な保育園スタイルよりチャイルド minder に預けるかベビーシッターを雇うスタイルが多いようだ。

近所の友人は第1子出産後、1年半後に双子が生まれ双子が1歳になったあたりから職場復帰した。彼女は週に2、3日出勤し1日は在宅勤務というスタイル。時短も行ってた。夫は専門医で週4日勤務。妻が出勤する火曜日は夫が休んで家にいた。さらに平日の夕方には掃除や子どもの面倒をみる通いのヘルパーを雇っていた。彼女は誰もが知っている石油会社でマーケティング部門に勤務し海外出張もこなしていた

が、「よい企業(業績面で)は子育てしやすい企業なのよ」と私に語っていた。

プレスクール(幼稚園)を経て日本よりは1~2年ほど早く小学校(Primary School)が始まる。比較的学童保育が充実している行政区もあるが、小学生でも送迎が義務付けられているため共働き家庭の場合シッターを頼むことが多い。小学生までは子どものみで留守番をすることは一般的でないうえ、公園などで小学生以下の子どもだけで遊ばせることはない。このためシッターは保護者が帰宅するまで、家で一緒に過ごしたり習い事に連れて行ったりする。さらに学校の懇談会や保護者主催の食事会が夜に開かれるため、我が家の場合チャイルド minder の家で特別に夜預かってもらったり、近所の大学生にシッターのアルバイトをお願いしたりして乗り切っていた。

送迎が不要になる中学生(Secondary School)になるまで共働き家庭では子どもの放課後をどう過ごすか、トコロ変わっても親の課題は同じかもしれない。

(佐野 記)





# かがやく ひと



湘南ビジネスコンテストをきっかけに自分の力で社会を変えたいという人とのたくさんの出会いがあり、ああ、こういう世界ってすごく魅力的だなと思いました。社会にはいろいろな仕事があっいろいろな活動をしている人がいるので、子どもたちにもそういう人たちと触れ合ってほしいんです。一方で、多くの母親が教育に悩んでいる。追いつめられるお母さんとの協力体制を作りたいという思いが強くあり、家庭と共に地域で子どもを育てていく塾があるといいと考えました。それに家庭・学校・塾とそれぞれを分けてしまうのはもったいないと思います。家庭と仕事も切り離したくない。だから「学びと仕事が融合する場所」をコンセプトにしたコワーキング型学習塾「シードハウス」をつくりました。



一人ひとは皆多様でいろいろな学びを必要としています。肝心なのは、自分自身にはどんな学びが必要かを探し出す力をもつこと。やりなさいと提示されたことをやるのではなく、「これが欲しい」と言えるスキルをしっかりと身につけてはなりません。それがないと多様な選択は可能にならない。自分で何かを掴み取るのはすごく

## 小林 コトミさん

内閣府男女共同参画局が表彰する「女性のチャレンジ賞」において令和元年特別部門賞(テーマ「多様な選択を可能にする学びの充実」)を受賞した小林コトミさん。湘南ビジネスコンテストで女性就労支援の企画が入賞したのを機に、女性の就業・学びを支援するため起業。アプリ開発、学習塾とコワーキングスペースの運営など多岐に渡って活躍している。



大変だし責任も伴いますが、これからはそういうことが求められるようになります。大人にも子どもにも、自分に必要な学びを掴み取る力が必要です。

女性の場合、出産前と後ではキャリア構築がまったく異なります。産む前はいくらでもできた無理ができなくなった分を何か他のもので補強しなければなりません。そこをしっかりと「見える化」していかなければなりません。補強としてのスキルを明示できるようにしておくことが大切です。また、仕事を生活の中にいかに取り入れるかがポイント。いわゆるすきま時間にできる仕事もあるわけで、そういうことの積み重ねがゆとりを生みそれぞれの充実にもつながる。仕事とプライベートを切り離さなければ意外と時間は見つかります。

私自身、産後50社以上の採用試験に落ちました。それは、決裁権のすべてを男性が持っているような男性社会において私は参加できなかったということだと思えます。参画の方にまわられたことが今回の受賞に繋がったとも思います。女性も参加から参画に移ることでもっと輝けるのではないのでしょうか。

(鈴木 記)

## 「面前DV」連鎖の恐怖

『面前DV』という言葉を知っているだろうか。どのような虐待なのか調べてみた。DVについては、これまでも何回か取り上げているが、少子化が急進する近年、虐待によって小さな命が失われる報道が多発している。

児童虐待には種類がある。殴る、蹴る等の暴力による**身体的虐待**。性的行為による**性的虐待**。食事を与えない、家に閉じ込めて外へ出さない、ひどく不潔にしておく等の**育児放棄(ネグレクト)による虐待**。言葉で脅したり、兄弟姉妹間に差をつけた扱いをする**心理的虐待**。**『面前DV』はこの心理的虐待にあたるのだ。**

近年、児童虐待の中でこの『面前DV』が増えているそうだ。6年前の約7倍になっているとか。両親の喧嘩がエスカレートして暴力行為へ。幼い子どもの前で、父親が母を殴る場面に(その逆も)居合わせる未発達な子どもの脳がどんな影響を受けるか。その光景が、心的外傷、トラウマとなって、次世代へ連鎖していく。突然の怒鳴り声と暴力の嵐、何時止むこともなく、恐怖は地獄のようだったと証言する体験者もいる。

以前観たTVドラマの話だが、幼児期に『面前DV』を体験した青年が主人公であった。主人公の青年が大人になるにつれ、日々父親に似てくる自分の風貌に恐怖を覚え、結婚を間近にして、整形手術を決意する。「どんな顔でもいいから、今の自分の顔以外にしてくれ」と、泣きながら手術を受けた。手術は成功、鏡の中の自分は別人の顔になった。そうまでして別人になりたい理由は、或る日、ふと見た鏡の中に、嘗て、母に暴力をした鬼のような父親の形相が浮き上がったのだ。自分もこれから結婚し、愛している彼女に暴力を振るうのではないのかと不安が募り、その恐怖

から逃げ出したかったという話であった。

また、幼いころ母親が面前でDVを受けていた女性の体験談もある。この女性は結婚し無事出産したが、可愛いはずの赤ん坊にどのように接すれば良いかが分からず悩み育児から逃げ出したと言う。夜泣きする子どもの顔を見てみると、幼い日の自分が蘇るといふ。怯えていた日が、脳に刻まれ、記憶が焼き付いていたのだろうか。

幼児期の体験がトラウマとなり繰り返される。DVの現場を見せることで、両親は知らぬ間に子どもを虐待しているのだ。そして数十年後に又、虐待が連鎖する可能性がある。

DV行為は絶対に許されないが、子どもの目の前で行うことが、どれほど恐ろしいことかをもっと知ってほしい。また、被害者は幼児期に体験した面前DVの記憶を引きずらない事を願う。

(山口 記)

- この秋は、スマホを開く回数減らして読書に勤しもうと思っています。(佐野)
- 夏の喧騒がようやく過ぎ去った秋の湘南。いまが一番よい季節。(鈴木)
- 祭りのにぎわい観る踊るも楽しいですが、遠くから聞こえてくる太鼓もいいですね。(前田)
- 大型台風10号がノロノロと上陸、お盆休みを無視して通過し。猛暑から台風季節へ、対策にあれこれ、知恵絞りの日々。(山口)

# インフォメーション

## 審議会等への女性登用状況について

男女共同参画社会の実現には、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大が重要です。「ふじさわ男女共同参画プラン2020」では、「審議会など、市政に対する女性の参画促進」を取り組むべき事業として定めています。今年度の調査結果は、次のとおりです。

### 調査結果

#### 1 国の分類における審議会等の女性登用比率

- ◆ **目標登用比率 30.0%以上** (令和2年)  
(国の第4次男女共同参画基本計画 成果目標)
- ◆ **平成31年4月1日現在の女性登用比率**
  - ・ 審議会等の対象数 60機関 ※1を対象
  - ・ 女性登用比率 **29.3%** ※平成30年(29.2%)比 +0.1ポイント

#### 2 市独自の分類における審議会等の女性登用比率

- ◆ **目標登用比率 50.0%以上** (令和2年度)  
(ふじさわ男女共同参画プラン2020 成果指標)
- ◆ **平成31年4月1日現在の女性登用比率**
  - ・ 審議会等の対象数 266機関 ※2を対象
  - ・ 女性登用比率 **42.1%** ※平成30年(41.3%)比 +0.8ポイント

#### 3 調査対象

- ① 地方自治法による行政委員会等  
(地方自治法第180条の5)
- ② 法律を根拠として設置する附属機関  
(地方自治法第202条の3)
- ③ 条例により設置される附属機関  
(地方自治法第202条の3) ※1
- ④ 要綱、要領等による協議会等
- ⑤ 上記に該当しない、会議・団体、  
任意の会議、実行委員会等 ※2

## レディオ湘南公式アプリができました

レディオ湘南の放送と藤沢市の情報をスマートフォンなどの端末機に配信する無料のアプリケーション

### レディオ湘南 of using FM++

無料  
です!

災害・緊急情報をより早く、より多くの方に伝えること、ラジオの難聴エリアの解消を目的とし、インターネットを利用して音声と文字情報をレディオ湘南より発信するものです。  
情報はPUSH配信により、アラームと文字で自動受信します。  
※情報の種類により文字情報のみのものもあります。  
平常時はレディオ湘南を聴くアプリとして利用することができます。



かがやけ地球は、市民の編集員さんの企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 鈴木 悠子・山口 千鶴子  
前田 英孝・佐野 美穂子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

FAX 0466-50-8436 (人権男女共同平和課 宛)  
E-mail fj-jinkendanjyo@city.fujisawa.lg.jp

## 藤沢の有隣堂《ご案内》 <http://www.yurindo.co.jp/>

藤沢店 \ 0466-26-1411

JR・小田急江ノ島線「藤沢」駅南口直結「フジサワ名店ビル」2・3・4・5階

テラスモール湘南店 \ 0466-38-2121

JR「辻堂」駅北口直結「テラスモール湘南」4階

藤沢本町トリアージュ白旗店 \ 0466-50-7550

小田急江ノ島線「藤沢本町」駅から徒歩5分

- 神奈川・東京・千葉に52店舗 ● 学校・公共施設・法人への商品納入
- オフィス用品の通販 ● オフィス設計・家具 ● 出版事業
- 図書館・地区センターの運営 ● 音楽教室 ● カルチャーセンター



## アート稲元

広告デザイン・ウェブデザイン  
有限会社

女性スタッフを中心とした  
最新・斬新・良質な  
クリエイティブワーク

〒251-0002  
神奈川県藤沢市大鋸 1-9-3  
TEL.0466-25-4019  
<http://www.art-inamoto.co.jp/>



## 医療法人社団 藤順会 藤沢順天医院

神奈川県藤沢市鵜沼橋 1-17-11

Tel 0466-23-3211

人間ドック

定期健康診断

脳ドック

婦人科検診



<http://www.fujisawa-junten.or.jp>

天然ガスがひらく未来



次の世代のこどもたちのために、  
いま、わたしたちが出来ること…  
東京ガスは考えています。

天然ガスを使用した、効率的なエネルギーシステムの普及・拡大に努めています。また、環境にやさしい暮らしやエコライフの提唱など、環境コミュニケーション活動を推進しています。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/> TOKYO GAS